

切り取ってご利用ください

連続美学講座「美学がいざなう芸術のよろこび(全5回)」

わたしたちが、絵を見たり、音楽を聴いたり、舞台や映画を見たりして、あるいは、それらを描き、奏で、演じるなどして、喜びを感じる芸術という営み。

美術館では、3人の美学者が、美学や芸術という言葉の発祥の地・西欧での考え方の基本を振り返りながら、芸術の魅力について語る、5回連続の美学講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

講座名	開催日時	講師
1 わたしたちはエステティシャン	11月7日(日)	宮川達氏
2 芸術は真理を写す鏡	11月14日(日)	早川恭只氏
3 芸術体験の特性について ～「愛」の感情を基軸としつつ	11月21日(日)	櫻井修氏
4 現代芸術の謀反	11月28日(日)	早川恭只氏
5 「なにが描かれているか」ではなく	12月5日(日)	宮川達氏

すべて午後3時～4時30分

会場：美術館喫茶室(カフェ アン・レーヴ)

参加料：1回500円(飲み物付き)

定員：各回20名(先着順)

参加方法：美術館へ電話で申し込む(希望する回のみ参加も可)

※10月1日(金)午前9時30分から受付開始。



美術館喫茶室でおいしいお茶を飲みながら楽しむ講座です。

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

日光市の文化財 ④

熊野堂神社の大イチョウ

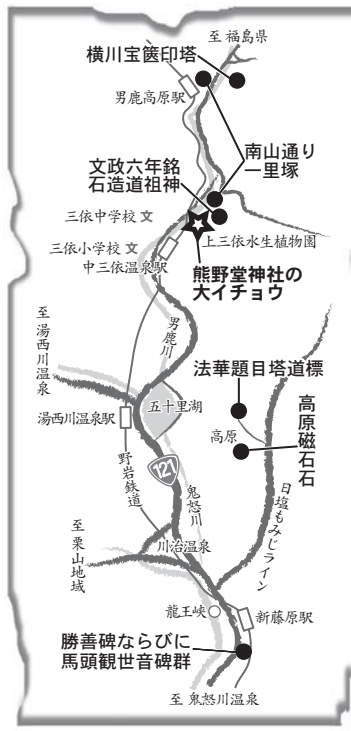


【種別】天然記念物  
【所在】日光市上三依  
昭和54年10月1日旧藤原町指定  
上三依水生植物園内には熊野堂神社があり、その境内にあるのが、今回ご紹介する熊野堂神社の大イチョウです。

元から数本の幹が伸びており、それらが癒着して成長したのではないかと考えられています。幹の一部は、地上七メートル付近で落雷による被害のため枯れてしまっています。樹木全体としての樹勢は旺盛です。幹全体の周囲が約一〇メートル、樹高約三五メートル、推定樹齢約三〇年とされるこの巨木は、秋になると鮮やかに色付き、堂々とした姿を見せてくれます。

現在、日光市指定天然記念物は四〇件ありますが、その中でもこの大イチョウは、同地域にある上三依観音堂の大イチョウと並んで、最も太い樹木の一つであり、市における貴重な天然記念物となっています。

上三依水生植物園にお立ち寄りの際には、ぜひ熊野堂神社の大イチョウもご覧ください。



歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎0282-6217  
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)  
休館日 毎週月曜日、祝日



企画展紹介②  
「朝鮮種人参」忘れられた日光の特産品

朝鮮ニンジンとは、漢方薬の材料として有名です。しかし、日光がその栽培の最も早く始まった場所の一つであり、また一大産地であったことはあまり知られていないのではないのでしょうか。

江戸時代、国内で朝鮮ニンジン栽培しようとした幕府は、日光に注目し、さまざまな試行錯誤を経て日本産の朝鮮ニンジン「朝鮮種人参」の栽培に成功しました。その後、現在の栃木県一帯では、「御用作」と呼ばれる幕府



朝鮮種人参(夏に赤い実を付ける)。

の厳重な管理体制のもとで栽培が行われ、日光周辺はその中心地となっていました。

しかし、日光周辺での朝鮮種人参の栽培は、現在ではほとんど見られなくなっていました。

今回の企画展では、日光市周辺に残る貴重な資料を展示しました。忘れられてしまったもう一つの日光の顔を知っていただくとともに、この展示を機会に、日光についての関心がより一層高まることを期待します。

催し

- ◆企画展「朝鮮種人参」  
10月2日(土)～12月28日(火)
- ◆歴史講演会  
「李垠殿下夫妻と日光市」  
10月17日(日)
- ※詳細は、情報ナビ(28ページ)をご覧ください。
- ◆千本木丘陵周辺植物調査  
10月9日(土)・23日(土)  
午前8時40分から

市民文芸

川柳 選者 山本都留米

- 棧敷席花火は耳で目はお酒 大堀 満  
自分だけ若いつもり同級会 櫻澤総一  
晝寝する経済効果考えて 白土武夫  
押売りの腰の低さに財布開け 渡辺春男  
永眠の母は私と同じ歳 倉沢美江子  
見抜かれて菌切れの悪い嘘一つ 塚原トモエ  
前向きが余生の福を招き寄せ 岩崎節子

俳句 選者 伊藤 清

- 蛇毒熱れて寂しや道祖神 渡辺ミチ子  
杜の道マイナスイオン降り注ぐ 福田美代子  
百日草猛暑に負けず咲き誇る 池田三夫  
亡き祖を偲ぶよすがの盃蘭盆会 徳本英子  
新涼や雲よりぬけし男体山 荒井境子  
大空に虹の橋かけ雨あがる 野澤三正  
蓮の花心やすらぐ散歩道 鈴木キヌ子

短歌 選者 阿久津伸一

- 夕暮れて竹散る庭を掃きをれば幼く 高野恒子  
細き鯛の声  
芽生えたるばかりの小豆は打ちつけ 根立郷美  
夏草の茂みの中に山百合はむせんば かに句を放つ  
狐塚昭子  
乗鞍岳のバスターミナル二千余メートルのお花畑は霧につつまれ 大森トミ子  
エジプトの写真渡せず急逝すりピア 砂漠にはじける笑顔  
播磨重美

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。

応募先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係  
☎(21)5135・FAX(21)5109